

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月 7日  
09時41分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00765	水路総務事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	70	下水道の整備							
予算事業	10691	01	08	03	01	02	01	01	水路総務事業（水路総務費）
所属長	辻田 康宏							担当者（内線）前川 了巳（2752）	
根拠法令等	吹田市認定外道路・水路等管理条例等								
事業開始年度	不明	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	水路維持管理に必要な事務		
目標	水路維持管理業務を支障なく行うこと		
結果	安全で快適な都市環境の確保が図られる		
事業概要	水路、排水管等の維持管理（消耗品、保険料、負担金等）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
■ 補助金・負担金	交付先①	安威川ダムに係る水特法第12条負担金	
	交付先②	淀川右岸水防事務組合分担金	
	交付先③	淀川右岸治水促進期成同盟負担金	
■ その他	内容	水路用地賃借料等	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,758	3,551	4,292	4,130	4,284
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,130	3,178
総事業費(A+B)	7,026	6,711	7,513	7,260	7,462
特定財源(C)	10	36	10	48	10
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10	36	10	48	10
市負担(D)	7,016	6,675	7,503	7,212	7,452
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,016	6,675	7,503	7,212	7,452
財源計(C+D)	7,026	6,711	7,513	7,260	7,462

所属	水循環室
事務事業番号	00765

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	水路、排水管等の維持管理事務（消耗品費、保険料、負担金等）	目標	水路維持管理業務を支障なく執行する。
成果内容	管理物件の維持管理業務が支障なく執行され、安全で快適な都市環境が確保される。	達成状況	維持管理事務が適切に実施され、安全で快適な都市環境の確保に寄与した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	水防に伴う負担金や水路用地の借地料であり、市民の安心安全の確保や水路機能を維持するため継続する必要がある。		

## 事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	水路総務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00765				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点	
(2) 有効性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	75	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00765
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、水防に伴い必要な負担金、水路用地の借地料であり、市民の安心安全の確保や水路の維持管理を行う上で必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
17時06分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00766	水路維持管理事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり			
細節	70	下水道の整備			
予算事業	10693	01	08	03 02 01 01 01	水路維持管理事業（水路維持費）
所属長	石黒 秀樹		担当者（内線）古川 誠一（2753）		
根拠法令等	吹田市認定外道路・水路等管理条例等				
事業開始年度	不明	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	吹田市が管理する水路、排水管等		
目標	水路、排水管等の環境を良好に保つ		
結果	安全で快適な都市環境を確保し、市民の命を守り、まちの品格を保つ。		
事業概要	水路、排水管等の維持管理（清掃・調査、補修・修繕、光熱水費等）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	清掃業者等
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	吹田市内水路及び排水管の清掃等
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	54,860	49,550	71,084	58,908	52,758
人件費職員数(人)	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	18,383	17,775	18,117	18,117	17,877
総事業費(A+B)	73,243	67,325	89,201	77,025	70,635
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	73,243	67,325	89,201	77,025	70,635
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	73,243	67,325	89,201	77,025	70,635
財源計(G+D)	73,243	67,325	89,201	77,025	70,635

所属	水循環室
事務事業番号	00766

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	水路等清掃業務	m	目標値	10,059.00	10,484.00	10,484.00
			実績値	10,059.00	10,484.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	水路等清掃延長	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.69	7.35	
			一般財源(千円)	6.69	7.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	水路しゅんせつ	m <sup>3</sup>	目標値	61.00	17.00	17.00
			実績値	61.00	17.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	しゅんせつ量	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,103.69	4,530.88	
			一般財源(千円)	1,103.69	4,530.88	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	支障なく水が流れ、安全で快適な都市環境を確保する。
	達成状況
	水路施設に必要な維持管理を行い、安全で快適な都市環境の確保に寄与した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	水路等は雨水排水や大雨時の雨水貯留機能を有しており、快適な生活環境の確保や市民の安心・安全に寄与しているため、今後も水路等を適切に維持管理することで、浸水被害を軽減できることから継続する必要がある。

## 事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	水路維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00766				

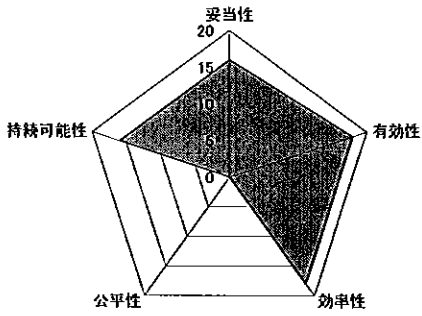
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	85	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水循環室	事務事業番号	00766
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>水路等の施設の多くは老朽化が進んできており、定期的に点検等を実施し、維持・修繕等を行っているところであるが、予算や職員の確保が課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 5日  
17時22分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00771	農業用水路維持管理事業							
章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり							
節	01	地域の特性を生かした産業の振興							
細節	40	地域性を生かした都市農業の推進							
予算事業	11312	01	06	01	04	02	01	01	農業用水路維持管理事業（農地費）
所属長	石黒 秀樹			担当者（内線）古川 誠一（2753）					
根拠法令等									
事業開始年度	不明	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	農業用水路		
目標	水路の環境を良好に保つ		
結果	良好な農業用水路の確保。		
事業概要	大阪府土地改良事業団体連合会及び大阪府ため池総合整備推進協議会の事業を推進し、また農業用水路の維持管理に必要な原材料を購入する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	大阪府土地改良事業団体連合会
交付先②		大阪府ため池総合整備推進協議会	
交付先③			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	維持管理に必要な原材料の購入	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	301	271	300	300	2,754
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,118	1,061	1,106	1,106	3,549
特定財源(C)	0	0	0	0	2,454
国	0	0	0	0	2,454
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,118	1,061	1,106	1,106	1,095
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,118	1,061	1,106	1,106	1,095
財源計(G+D)	1,118	1,061	1,106	1,106	3,549

所属	水循環室
事務事業番号	00771

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	無し		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	農業用水路の維持管理に必要な原材料の購入及び大阪府土地改良事業団体連合会、大阪府ため池総合整備推進協議会への負担金交付を行っている。	目標	支障なく水が流れるよう適切に維持管理されること。
成果内容	良好に農業用水路が確保される。	達成状況	農業用施設が良好に使用されていることから、事業が適切に実施されたと考える。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	農業用水路やため池等は、大雨時に河川や下水道管を補完することにより、水防等にも貢献できることから継続する必要がある。		

## 事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	農業用水路維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00771				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	10	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	67	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水循環室	事務事業番号	00771
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

農業用水路やため池は、昨今の宅地化に伴い、農地が減少してきており、大雨時の水防等の際に河川や下水道管を補完する施設となるため継続する必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>農地の減少に伴い農業用水路も減少してきており、将来的には、縮小や水路維持管理事業への統合も視野に入れる検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 6日  
15時12分32秒作成

評価年度	平成29年度	所屬	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00772	農業用施設局部改良事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	02	自然と共生するまちづくり							
細節	10	自然とのふれあい空間の保全と創造							
予算事業	10629	01	06	01	04	01	01	01	農業用施設局部改良事業（農地費）
所屬長	松川 豊			担当者（内線）	多田野 裕之（2772）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	不明		直近の改正	平成元年度					
改正内容	水行政（排水）の一元化に伴い、（旧）建設部から下水道部に事務移管されたため。								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 国や大阪府の補助制度を活用しながら事業を行っている。								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市内の農業用施設（ため池、樋門、水路等）		
目標	農業用施設の改良を行う。		
結果	農業用施設の適正な機能面、安全面の確保等が図られる。		
事業概要	農業用施設の適正な機能面、安全面の確保等を目的に施設の改良を行う。また、水利組合等へ積算、工事等の支援を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	29	26	29	29	29
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	1,663	1,606	1,640	1,640	1,618
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,663	1,606	1,640	1,640	1,618
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,663	1,606	1,640	1,640	1,618
財源計(C+D)	1,663	1,606	1,640	1,640	1,618

所属	水循環室
事務事業番号	00772

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	農業用施設の改良や水利組合等への支援を行う。	目標	農業用施設の改良を行う。
成果内容	積算図書を購入し、農業用施設改良の積算を行う。	達成状況	農業用施設の適正な機能面の確保に寄与した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：水利組合に農業用施設改良の支援を行うが、補助制度を活用する事業はなかったため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 積算図書を購入し、水利組合に農業用施設改良の積算支援を行うが、補助制度を活用する事業はなかった。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価や進捗状況の評価を踏まえると、年度によるばらつきがあるが、国や大阪府の補助制度を活用しながら、農業用施設の適正な機能面、安全面の確保等を目的に施設の改良を行うことから、継続することが妥当である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	農業用施設局部改良事業	事業区分	その他
事務事業番号	00772				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	76	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	76	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水循環室	事務事業番号	00772
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>農業用施設を利用している受益者は、特定の者となり減少傾向にあるが、サービスの対象範囲や水準は、受益者以外の市民から見ても理解が得られると判断しており、公平な事業と考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

特になし。



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 6日  
14時15分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00773	河川親水環境事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10692	01	08	03	01	99	99	99	河川親水環境事業（水路総務費）
所属長	松川 豊				担当者（内線）	多田野 裕之（2772）			
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 糸田川河川清掃については、河川管理者である大阪府と吹田市で経費を半額ずつ負担している。								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市内の河川		
目標	河川管理者との協働により、河川の清掃作業を行い、ごみをなくす。		
結果	河川環境の美化・保全の推進が図られる。		
事業概要	河川管理者である大阪府との協働により、市内の河川清掃作業を行い、河川環境の美化・保全を推進する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	清掃業者
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	糸田川河川清掃業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	713	594	713	589	803
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,347	2,174	2,324	2,200	2,392
特定財源(C)	356	297	356	294	401
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	356	297	356	294	401
市負担(D)	1,991	1,877	1,968	1,906	1,991
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,991	1,877	1,968	1,906	1,991
財源計(G+D)	2,347	2,174	2,324	2,200	2,392

所属	水循環室
事務事業番号	00773

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	河川の清掃回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	当該年度の河川の清掃回数を目標値とし、清掃回数を実績値として算出する。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,087.00	1,100.00	
			一般財源(千円)	938.50	953.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
河川清掃作業を行い、ごみを収集し処分する。	達成状況 河川環境の美化・保全を推進した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:事業費は大阪府と吹田市で半額ずつ負担しているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移は河川の清掃回数を年2回としており、事業成果は概ね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価や指標数値の評価を踏まえると、事業費は少ないが、地域の環境美化意識が高く、河川管理者との協働により、河川環境の美化・保全を推進することから継続することが妥当である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	河川親水環境事業	事業区分	その他
事務事業番号	00773				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		e. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水循環室	事務事業番号	00773
-----	------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現状では、年2回実施する糸田川の河川清掃のみを行っている事業である。環境美化意識の高い地区からの要望であり、市民にとって有効であると考えている。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>糸田川の河川清掃については、河川管理者である大阪府と協働による実施のため、経費の半額分が負担金として繰入されている。</p>
---

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 6日  
14時18分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00774	水路新設改良事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	02	自然と共生するまちづくり							
細節	10	自然とのふれあい空間の保全と創造							
予算事業	10694	01	08	03	03	01	01	01	水路新設改良事業（水路新設改良費）
所属長	松川 豊			担当者（内線）多田野 裕之（2772）					
根拠法令等	なし								
事業開始年度	不明		直近の改正		平成元年度				
改正内容	水行政（排水）の一元化に伴い、（旧）建設部から下水道部に事務移管されたため。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市内の水路、排水管等		
目標	水路、排水管等の改良を行う。		
結果	水路、排水管等の適正な機能面・安全面の確保及び利用面の向上等が図られる。		
事業概要	水路、排水管等の適正な機能面・安全面の確保及び利用面の向上等を目的に施設の改良を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	68,306	39,279	67,170	40,485	57,527
人件費職員数(人)	5.60	5.60	5.60	5.60	5.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	45,752	44,240	45,092	45,092	44,492
総事業費(A+B)	114,058	83,519	112,262	85,577	102,019
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	114,058	83,519	112,262	85,577	102,019
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	114,058	83,519	112,262	85,577	102,019
財源計(C+D)	114,058	83,519	112,262	85,577	102,019

所属	水循環室
事務事業番号	00774

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	工事内容が多様多様で数量化が困難であるため、画一的な指標としては工事本数で管理している。	件数	目標値	2.00	3.00	2.00
			実績値	2.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	水路等の改良工事件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	41,759.50	28,525.67	
			一般財源(千円)	41,759.50	28,525.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 排水管に伴う陥没防止や水路の流下能力を改善する。	達成状況 水路、排水管等の適正な機能面・安全面の確保及び利用面が向上した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：水路、排水路等の施設の老朽化等に伴う陥没防止や流下能力の確保をしているため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 現状では実施計画策定当初のスケジュールと比較して予定どおりに進んでいる。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や進捗状況の分析を踏まえると、水路・排水管等の機能面・安全面の確保及び利用面の向上等のため、施設の改良を行う事業であり、市民の安心・安全を守るためには不可欠なものとして継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

2019/6/615:20

所属名	水循環室	事業名	水路新設改良事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00774				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	水循環室	事務事業番号	00774
-----	------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民の安心・安全を守るための事業であり、サービスの対象範囲や水準は適正である。今後も老朽化対策として水路、排水管等の改築を継続して行う必要があると考えている。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>特になし。</p>
--------------



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 4日  
16時46分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0012020000	水循環室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01761	浸水対策事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	10	防災			
予算事業	11727	01	09	01 04 01 02 10	浸水対策事業（災害対策費）
所属長	石黒 秀樹		担当者（内線）泉 雅之（2753）		
根拠法令等	水防法、吹田市止水板設置助成金交付要綱				
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	浸水被害が想定される地域の居住者及び事業所等		
目標	浸水被害の軽減		
結果	ゲリラ豪雨や台風等による浸水被害から市民の生命と財産を守り、安全で快適な都市環境の向上を図る。		
事業概要	①水防に必要な資機材（土のう）を備蓄整備し、要望に応じて配布と回収を行う。 ②浸水被害を軽減する止水板や止水シート設置に対する助成金の交付		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	水防活動業務受注業者（市内9社）
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	土のうの配布・回収
		交付先①	止水板設置者
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,211	4,754	8,462	6,250	8,376
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	2,013	2,013	1,987
総事業費(A+B)	11,254	6,729	10,475	8,263	10,363
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	11,254	6,729	10,475	8,263	10,363
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,254	6,729	10,475	8,263	10,363
財源計(C+D)	11,254	6,729	10,475	8,263	10,363

所属	水循環室
事務事業番号	01761

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域からの要望により、土のうを配布・回収した水防活動の実施回数	回	目標値	20.00	27.00	27.00
			実績値	20.00	27.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実際に要望のあった件数を目標値とする。なお平成30年度の目標値は前年の実績値を設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	336.45	306.04	
			一般財源(千円)	336.45	306.04	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市民等からの要望に応じて土のうを配布し、また使用済土のうを回収する。	目標	市民等からの要望に対し、即座に水防活動が実施できる体制を確保する。
成果内容	土のうを無料配布することで、水害に対する防災意識の向上が図れる。	達成状況	市民からの要望に対し、迅速かつ的確に対応している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	ゲリラ豪雨や台風等による浸水被害を事前に予測することは困難であり、市民から要望のあった際に即座に土のう配布による水防活動を実施できる体制を確保しておくことが重要で、市民と協働して水害対策を実施する観点から、重要な役割を担っている事業と考える。

## 事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	浸水対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01761				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水循環室	事務事業番号	01761
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ゲリラ豪雨や台風等による浸水被害から市民の生命と財産を守ることは行政の責務である。予測不可能な水害に対して市民の防災意識を向上させ、市民との協働により被害の軽減を図ることが最大の目的であり、上記指標のみで画一的に評価することは困難。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市では浸水被害が多い地域について、雨水管渠の増強や貯留施設の整備等による水防対策を順次進めているものの、完成までに相当な時間と多額の費用を要するため、被害軽減に即効性のある土のうの無料配布による水防活動については、過去に浸水被害を経験した地域等からの要望も強く、依然として市民ニーズが高い状況にある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)